

日本写真学会 第25回カメラ技術セミナー

今やカメラといえば、デジタルカメラが隆盛となり、各社とも精密機械、光学、電気、情報処理の融合による新たな価値提案を行っています。そのような状況の中で、若手技術者に各種技術情報を提供し、また技術者同士の交流の場を提供しようという目的からカメラ技術セミナーが開催され、本年で25回目を迎えます。

今回もタイムリーな情報を提供すべく、各分野にてご活躍の方々にご講演をお願いしております。また、セミナー終了後には、ささやかな懇親会も予定しております。この機会に多くの方にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

【第25回カメラ技術セミナー】

主催：(一社)日本写真学会 カメラ技術研究会

日時：2017年10月25日(水) 9:55-19:00 ※懇親会含
(9:30 受付開始、9:55 開会)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 4F セミナーホール
東京都渋谷区代々木神園町 3-1
(小田急線参宮橋駅徒歩7分、
地下鉄千代田線代々木公園駅徒歩10分)
<http://nyc.niye.go.jp/>

参加費：正会員・賛助会員・協賛学協会員 10,000円、
非会員 11,000円、学生会員 3,000円、
学生非会員 4,000円

申込方法：

- ・写真学会のホームページからお申し込みください。
- ・写真学会事務局にE-mail または Fax でもお申し込みいただけます。
件名に「第25回カメラ技術セミナー参加」と明記の上、参加者氏名、
所属(勤務先 / 通学先)、連絡先(住所、Tel / Fax、E-mail)、参加区分をご連絡ください。
- ・参加費は、当日会場にて現金でお支払いください。
- ・申込締切 2017年10月18日(水)

【講演内容】

10:00~10:40 1. ニコン・スペースカメラの開発と最新状況

株式会社ニコン 映像事業部 後藤研究室

後藤 哲朗 氏

ニコンは1960年代から、信頼性・高品質と極限状態に耐える性能を実現したスペース用カメラを提供し続けており、宇宙開発に多大な貢献をしている。今回は2010年の類似講演に対して最新情報などを追記拡充し、実機展示と共に報告を行う。

10:50~11:30 2. Dual Pixel CMOS AF 技術/Dual Pixel Raw 技術の解説

キヤノン株式会社 イメージコミュニケーション事業本部 ICB 統括第一開発センター 福田 浩一 氏

キヤノン独自のDual Pixel CMOS AF技術を、フルサイズセンサーに進展させ、2016年発売のデジタル一眼レフカメラEOS-1D X Mark II、EOS 5D Mark IVに搭載し、ライブビュー／動画撮影での優れたAFを実現した。さらに、EOS 5D Mark IVでは、Dual Pixel CMOS AFのフォトダイオード対により左右の視点画像を同時に撮影できる機能を、RAW画像に応用したDual Pixel Raw技術を初搭載した。本セミナーでは、Dual Pixel CMOS AF/Dual Pixel RAW技術を中心に、デジタルカメラのAF技術と関連技術について解説する。



“国立オリンピック記念青少年総合センター”，<http://nyc.niye.go.jp/train/>

12:30～13:10 **3. M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO の開発**

オリンパス株式会社 技術開発部門 光学システム開発本部

村山 恭二 氏

オリンパスでは、「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」を2016年11月に発売した。高倍率ズームと「高画質、小型軽量、高い近接撮影能力」を高次元で両立し、さらに5軸シンクロ手ブレ補正によりE-M1 Mark IIとの組み合わせで世界最強6.5段の手ブレ補正効果を持たせたプロフェッショナル高倍率ズームの開発背景と技術ポイントについて説明する。

13:15～13:55 **4. 4K60P 動画無制限記録の実現と機構要素技術の取組み LUMIX GH5 の開発**

パナソニック株式会社 アプライアンス社 イメージングネットワーク事業部

安田 幸司 氏

LUMIX GH5 はミラーレス一眼として初めて高画質 4K60P 動画無制限記録を達成した。小型化と機動力を維持しつつ、前モデル GH4(4K30P 動画無制限記録)に対し、大幅に増加する電力にどう向き合い小型化と省電・放熱設計を両立させたのか、また、LUMIX GH5 を支えるその他の機構要素技術の取組みについて紹介する。

14:05～14:45 **5. 大口径超広角レンズ「14mm F1.8 DG HSM | Art」の光学設計**

株式会社シグマ 開発第2部

佐藤 良祐 氏

シグマが新たに開発した交換レンズ「14mm F1.8 DG HSM | Art」は、フルサイズ対応の超広角、大口径でありながら、歪曲収差を十分に補正し、さらに絞り開放から高い光学性能を実現している。本講演では、その特長について光学設計的な観点から説明する。

14:50～15:30 **6. デジタルカメラとインクジェットプリンタによる立体複製画の紹介**

株式会社リコー CIP 開発本部 IP 開発センター

畑中 伸一 氏

美術館で取扱う絵画作品は印象派などを中心に人気があり、複製画の販売も一つのビジネスになっている。しかし一般的な複製画は平面印刷で、筆のタッチなどの立体形状は失われている。本講演では、デジタルカメラならびにUVプリンタを活用した、立体的な複製画の製作技術を紹介する。

15:40～16:20 **7. 幻の大絵馬の彩色復元 明治期の白黒写真を読み解く**

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部

木下 悠 氏

関東大震災で焼失した葛飾北斎晩年の大作「須佐之男命厄神退治之図」は、明治期に撮影された白黒写真を元に100年近いときを経て原寸大に彩色復元された。この復元図は、写真科学的考察に、美術史、伝統技術、デジタル技術から見えてくる可能性を重ねることで彩色を読み解き推定したものであるが、本講演ではその過程について紹介をする。

※ 昼食は、施設内レストランの昼食券を無料配布しますのでご利用ください。

※ 講演終了後、懇親会(17:00-19:00)を開催いたします。参加無料ですので、ぜひ最後までご参加ください。

※ テーマおよび講師については、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

【問合せ先】

一般社団法人 日本写真学会事務局

Tel : 03-3373-0724 Fax : 03-3299-5887

E-mail : spstj@pht.t-kougei.ac.jp

(イベント案内) http://spstj.org/event/nissya_e.html